

平成17年12月16日

各位

新日鐵化学株式会社  
代表取締役社長CEO 西 恒美  
(電話03-5759-2741)

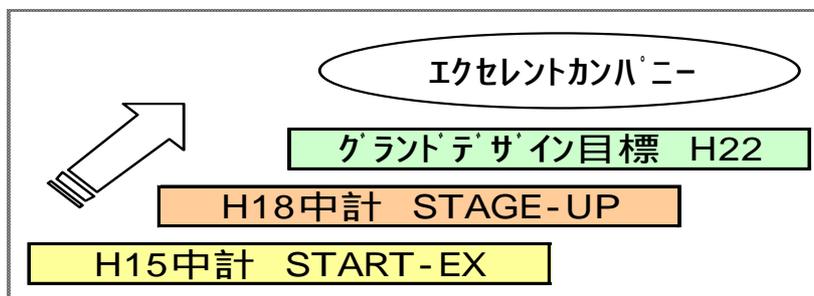
平成18年度中期(H18~H20)連結経営計画  
「STAGE UPプラン」

当社は、グループ企業をあげて「真の実力ある会社づくり」に邁進していますが、さらに一段上のステージを目指すため、「『安定』と『成長』の同時達成を確実に実現する事業構造の構築」を基本コンセプトとする、新中期計画・「STAGE UPプラン(\*)」を策定しました。

現行中計(H15中計)では、構造的赤字事業からの撤退や芳香族化学品事業・コールケミカル事業の戦略的強化等といった“選択と集中”による事業構造の転換を実行し着実に成果を上げてきましたが、今後、当社グループが変化し続ける市場で勝ち残り成長していくためには、情報・電子材料事業領域を中心として次代を担う中核商品の拡充が必須となっています。

そこで今回の計画では、中核事業群の構造強化や事業構造の恒常的再点検を通じた経営効率改善により経営の安定を図ると同時に、拡大事業領域への経営資源の集中投入により当社グループの成長を目指すという、挑戦的な目標を掲げることとしました。

また、この計画期間の3カ年は、グランドデザインの目標達成のためにも、きわめて重要ですが、グループ社員も含めた一人ひとりが主役となり、それぞれの課題に取り組むことによって、最終的な目標であるエクセレントカンパニーを築くことができると確信しています。



(*) S T (Stability and)	安定と同時に
A (Aggressive)	積極的に
G (Growth for)	成長を目指し
E - (Excellent company)	エクセレントカンパニーに向け活動する
U P	

## 1. 事業の基本方針

### 中核事業群の構造強化

常に“世界一”を視野に入れた戦略を策定し、果敢に実行。

### 新規事業候補の選択と重点的立上げ

経営資源の集中投資により、次代の成長の核を育成。

### 更なる選択と集中の推進

事業構造の恒常的再点検を通じ、経営効率を改善。

### 財務体質の充実

## 2. 連結財務目標

足元の好調な景況感が続くことは期待できず、先行き不透明感が増大する中で、利益率重視・財務体質充実の方針を継続するとともに、市場環境の変動に左右されにくい収益構造の構築を目指し、中計最終年度（H20年度）断面の連結財務目標は、以下の通りとします。

(単位: 億円)

	H17年度 (見込み)	H20年度 (中期計画)	H22年度 (グランドデザイン)
経常利益	240	250	300
ROS	8%	9%	10% 以上
有利子負債残高	900	400	
自己資本比率	23%	42%	50%
D/E比率	1.9	0.5	

## 3. 経営資源投入計画

情報・電子材料分野を中心に、ナンバーワン/オンリーワン商品の創出を目指し、設備投資及び研究開発で3ヵ年総額500億円程度を投入する計画(現行中計見込み350億円)であり、ターゲット分野・商品の絞り込み、集中投入により成果の早期獲得を狙うこととしています。

なお、2層CCL(銅張積層板)等、戦略的事業領域においては、事業環境を踏まえ迅速な投資判断を行い、機を逃さず実行致します。

以 上

平成18年度中期(H18~H20)連結経営計画<STAGE-UPプラン>

これまでの取組み

1. グランドデザイン(H16.3策定)

目標とする企業像及び事業展開の方向性を明示

【企業理念】

新日鐵化学グループは、高度な化学技術を自ら育成・蓄積し、その活用により社会に貢献する。広く社会から信頼され尊敬を受けるにたる社員で構成される。

【経営目標】

お客様のメリットを高めることができる独自商品を提案・提供できる会社  
その独自商品を連続して出し続けることにより技術力を高く評価される会社  
世界一の商品を常に3つ以上持ち、それで利益の1/3を出す会社  
環境、社会貢献でも胸をはれ、人材が競って集まる会社

【指標】(達成年度:H22年度)

経常利益 = 300億円 (ROS = 10%以上)  
自己資本比率 = 50%

【戦略事業領域】

強化・基盤事業	傾斜・拡大事業
コールドケミカル 化学品	情報・電子材料

2. START-EXプラン(現行中計H15~H17)

グランドデザインの方向性を踏まえ、“社会に貢献できるエクセレントカンパニーへの転進”に向け策定。下記諸施策の成果と事業環境の好転により、所期目標を大きく上回る見通し。

【実行施策】

- |         |  |
|---------|--|
| 経営基盤強化  | 1) 株式交換による新日鐵の完全子会社化<br>2) 増資350億円・減資627億円による単独累損解消                                  |
| 選択と集中   | 1) 非中核事業の整理<br>2) 中核事業の構造強化・成長戦略の推進  |
| 運営体制の改革 | 1) 取締役会のスリム化、執行役員制度の導入による経営意思決定の迅速化<br>2) 新事業・新商品探索機能強化によるポストグランドデザインの事業構造構築に向けた検討推進 |

環境認識

H16以降、化学品中心に予想を上回る活況を呈してきたが、原料価格高騰、中国・米国経済動向、欧米巨大化学資本の中東・アジア進出、情報・電子材料事業分野の競争激化等、事業環境の変動要素・不透明感は増大

構造的赤字事業の整理はほぼ完了

化学業界各社の戦略方向は同傾向

- 1) 汎用品でも国際競争力ある強い事業はさらに強化
  - 2) 戦略的ターゲット領域・・・電子材料事業、医薬/ライフサイエンス事業
- 新日化グループの差別性を活かし得るターゲットの選定、戦略策定が必須

H18中期計画概要

1. 基本方針

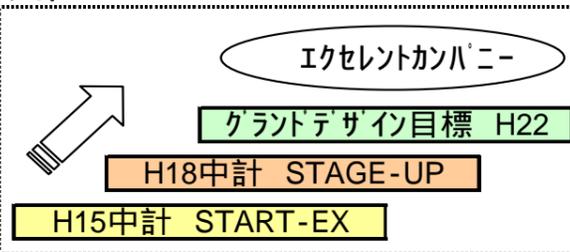
【コンセプト】

”『安定』と『成長』の同時達成”を確実に実現する事業構造の構築

【基本方針】

- 中核事業群の構造強化
- ・常に”世界一”を視野に入れた戦略を策定し果敢に実行
- ・新規事業候補の選択と重点的立上げ
- ・経営資源の集中投入により次代の成長の核を育成
- ・更なる選択と集中の推進
- ・事業構造の恒常的再点検を通じ経営効率を改善
- ・財務体質の充実

本中期計画は新日鐵化学グループ全社員が”真の実力づくり”に取り組み、グランドデザイン実現に向け、さらに一段上のステージを目指すものであり、その確実な実行によりエクセレントカンパニーへの階段を一步一步登りたいとの思いを込め”STAGE-UPプラン(\*)”と呼称する。



4. セグメント別展開方針/マネジメント課題

”安定”を担う基盤事業領域 競争力の徹底強化

コールドケミカル事業

- ・市場を健全にリードできる世界最強の石炭化学事業構造の構築
- ・アライアンスも視野に入れた最適プロダクトミックスの徹底追求

化学品事業

- ・芳香族をベースとする汎用化学品の基盤強化(BTX、SM、BPA)
- ・高機能性樹脂・樹脂用原料事業への展開(電材用特殊エポキシ等)

”成長”を狙う拡大事業領域 進化するニーズへの俊敏な対応

情報・電子材料事業

- ・ユーザー業界との結合強化によるナンバーワン/オンリーワン事業の創出
- ・高機能品市場での2層CCL差別化 トップシェア維持
- ・液晶ディスプレイ材料/有機EL材料事業の強化・拡大

マネジメント課題

- ・製造実力(生産技術・設備技術)の強化
- ・開発力の強化
- ・事業化のスピードアップ
- ・人材確保及び人材育成を推進する人事(処遇)制度の確立

2. 連結財務計画

(単位:億円)

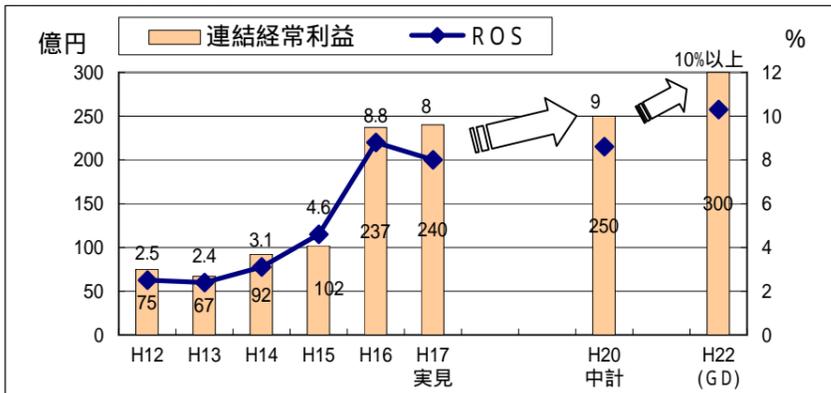
	H17年度 (見込み)	H20年度 (中期計画)	H22年度 (グランドデザイン)
経常利益	240	250	300
ROS	8%	9%	10%以上
有利子負債残高	900	400	
自己資本比率	23%	42%	50%
D/E比率	1.9	0.5	

3. 経営資源投入計画

情報・電子材料分野を中心に、ナンバーワン/オンリーワン商品の創出を目指し、設備投資と研究開発で3ヵ年で総額500億円程度の投入を計画。(現行中期見込み350億円)  
ターゲット分野・商品を絞り込み、集中投入により成果の早期獲得を狙う。

(\*) ST (Stability and) 安定と同時に  
A (Aggressive) 積極的に  
G (Growth for) 成長を目指し  
E (Excellent company) エクセレントカンパニーに向け活動する  
UP

【連結経常利益推移】



【連結有利子負債残高】

